

令和2年大磯町議会

3月定例会総括質疑（2月21日）

質問議員	質問事項
1 11番 吉川 重雄議員 (40分) 9:05～9:45	<p>2月13日、3月定例会で令和2年度の施政方針が行われた。大磯町長として10年目を迎えられた。町長が就任されてから様々な公約が掲げられてきた。その中で、達成されたものと未達成のものはどんな公約かをお伺いする。中でも、未達成であるとか、不満足と思われている公約は何なのか。</p> <p>また、原因は何であると捉えているのか。残り任期2年間で未達成の公約、不満足な公約は、しっかり実現できると考えているのか、改めて町長の見解を問う。</p>
2 8番 奥津 勝子議員 (40分) 9:45～10:25	<p>第四次総合計画の集大成として、継続してきた取組みを第五次総合計画につなげるとの決意を述べた令和2年度の施政方針に対し総括質疑を行う。</p> <p>1. 31年度の力点と同じ重点項目の「子育て」の中で小児医療費助成制度、待機児童対策、「出産後の母親の健康診査」、「新生児の聴覚検査」への助成制度の具体的な予算は。</p> <p>2. 「教育」について、横溝千鶴子記念教育研究所が始動した。本町でも問題視するひきこもりの一要因となる不登校児へのサポート体制、教師の働き方改革への予算付けは。</p> <p>3. 「健康」について、「おあしす事業」の次のステップ、「フレイル予防の新たな取組み」、「口腔がん検診」、「産後歯科健康診査」はどのように進めるか。また、子どもが運動に親しむ機会の拡充となる新規種目のスポーツとは。</p> <p>4. 「経済」について、大磯港賑わい交流施設のオープンに伴い、農業、漁業、商工業の相乗効果や活性化と言われるが、町に「賑わい」を生み出せるよう次期計画の策定と新たな体制づくりとは。</p> <p>5. 「安全・安心」について、防災・減災への意識が高まる中、地震災害対策への取組みとして、通学路や緊急輸送路に面した危険なブロック塀の解体に対する新設の補助制度とは。また、国はアウトリーチ型支援を強化するという。高齢化が進む本町も、保健師の訪問指導をきっかけに「地域とのつながり」を回復させるための取組みを進めるとのことだが、具体的な予算付けは。</p>

<p>3</p> <p>6 番 吉川 諭議員 (40 分) 10:40~11:20</p>	<p>町長の令和 2 年度施政方針を聞き、以下の点につき質問する。</p> <p>1. 「定住人口の安定化」について 「定住人口の安定化とは何か、また交流人口の増加と定住人口の安定化は別々に考えるべきではないか。</p> <p>2. 「子育て」について 切れ目ない支援の幅が小児医療費助成制度の拡充によって広がる。子供の居場所や遊び場について一層の充実が求められるが、どう考えるか。</p> <p>3. 「教育」について 少子化の影響もあり、子どもの教育への保護者の関心は高い。「質の高い教育」は定住促進への強力な動機となり得るが、町で考える「質の高い教育」とは何か。また本年はどう施策に盛り込み取り組むか。学校現場の課題に十分な対応ができていないと述べたが、どう取り組むか。</p>
<p>4</p> <p>10 番 渡辺 順子議員 (40 分) 11:20~12:00</p>	<p>1. 第四次総合計画の集大成の年として、これまでの実績や成果を引き継ぎ、新たなステージへとつなげていくとのことであったが、第四次総合計画をどのように総括するか。目標達成率、成し得なかったものは何か等。</p> <p>2. 観光から経済へのシフトについて 経済を力点に定住人口の安定化をさらに進め、農業、漁業、商工業に力を入れ町内経済活性化につなげるものと推察する。そのうちで、5年・10年後も見据えた生沢、虫窪地区で行う人・農地プランとはどのようなものか伺う。</p> <p>3. 以下 3 事業の進め方は 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業、旧東海道松並木整備事業、学校給食運営事業の令和 2 年度の進め方は。</p> <p>4. 昨年の平成 30 年度決算委員会でまとめた 8 項目の意見が令和 2 年度予算にどのように反映されたか。</p>

<p>5</p> <p>2 番 石川 則男議員 (40 分) 13:00～13:40</p>	<p>本会議初日の施政方針を受けて次のとおり総括質疑を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口減少対策として「交流人口の増加と定住人口の安定化」とよく聞く。大磯港賑わい交流施設の指定管理者である(株)田園プラザ川場が運営する道の駅は、日本一集客の多い道の駅と言われている。観光に力を入れている大磯町として川場村を目指すのか。観光客を増やすことが定住人口の安定化につながり人口減少に効果があるといえるのか。 2. 昨年10月より国による「幼児教育・保育の無償化」が開始された。子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、認可外保育施設に対しても認定保育園と同様の対応をして「子育てで選ばれる町」をもう一步前に進めてはどうか。 3. 待機児童対策として幼保連携型認定こども園及び小規模保育事業所の拡充により待機児童の削減に努めるとのことだがスピードが重要である。年度内実現は可能か。 4. 町立小中学校から修理修繕や備品の購入希望に応える予算になっているか。
<p>6</p> <p>15 番 柴崎 茂議員 (40 分) 13:40～14:20</p>	<p>2月13日、今議会初日、日本共産党の鈴木京子議員から休憩動議があった。</p> <p>その理由は、「議会の品位の保持」についてで、私柴崎の発言は、品位がなく、議長に対する発言が極めて無礼というもの。</p> <p>私から言わせれば、議会での発言の規律は、守られるべきで、せめて議会・議事運営は、きちんとするべきだと考える。</p> <p>さて、今議会初日の本質は、どこにあるのか。</p> <p>議案第3号の賛否が、著しく割れたことにあると考えている。議案第3号は、日本共産党の鈴木京子議員、渡辺順子議員、石川則男議員の3人も賛成討論を行った。</p> <p>私は、反対討論までもなく、「大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会」他の提案に言葉汚く反対した。なぜなら、庁舎建設は隣町の二宮でさえ、人口約27,000人でも26億円かかるとも言われている中、人口31,200人の大磯町がその委員会をつくるという案件で、余りにも私の考えと彼我の差があるからだ。</p> <p>さらに、彼我の差のある案件が、令和元年度補正予算にある。大きく、問題があると認識している事に心あたりはあるか。</p> <p>その一つは、平成28年の今と同じ時期にも指摘したが、未だにそのままだ。</p> <p>いま一つは、町財政数字に対する重大な説明不足だ。</p> <p>町政の責任者に認識を問う。</p>

<p>7 1 番 鈴木 京子議員 (40 分) 14:35～15:15</p>	<p>町長は所信表明で直面するいかなる課題にもひるむことなく勇敢に突き進む「勇往邁進」を胸に、さらなる大磯町の発展を目指し取り組む予算編成と語った。町民にとって、真の安全・安心は日々の暮らしにある。地方自治の本旨は「住民の福祉の増進」とされる。税金の使い方が町民本位になっているか、次の点について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国内の社会情勢の認識は甘くないか。 2. 子育て支援関連事業の総額は、前年度比でどう違うか。内容と額の差異は。 3. 障がい者にとって前進する事業はあるか。介護保険適応で困る方はいないか。 4. 高齢者は「取り残され感」が強い。予算全体からみて、どう説明するのか。 5. 学校現場の教職員の多忙化に対する具体策は何か。変形労働制をどう考えるか。 6. マリア道の上水道、雨水排水整備は何のために行うのか。 7. 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業の進め方は。 8. オリンピック、パラリンピックに関する具体的な施策と総額は。 9. 会計年度任用職員制度導入による人件費の増額分と、地方交付税措置の関係は。 10. 職員の働き方改革の具体策は。各部局において、時間外手当の支給に違法性はないか。ないのなら、その根拠を示すことを求める。 11. 予算全体で義務的経費、經常経費といわれる金額は。
---	---

7 名 2 9 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。